# 第八講　実力確認の問題

## 《随筆》　テーマ「哲学　自己と他者」

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

地下鉄に乗ったときのことだ。わたしの家は地下鉄の始発駅近くにあって、いつも数えられるほどのひとしか乗り込まない。その日乗客はたったふたり、わたしの前に老境（ろうきょう）にさしかかった女性がひとり座っているばかりであった。発車のベルがなり、鞄（かばん）から読みかけの本を取り出そうとしたとき、ひとりのＯＬがあわてて駆（か）け込んできた。そしてふうっとため息をつきながら、わたしの斜め向かいに腰をおろした。

五〇代半ばくらいの女性と四〇代の男性と二〇歳過ぎの女性、わたしたちの車両にはちょうど三世代の人間がひとりずつ乗り合わせた格好になる。中間のわたしからすれば、ふたりの女性は親でも妻でも姉でも妹でも娘でもありえない存在、［　A　］家族のアナロジーをどうも適用しにくい存在であって、そのせいかどうか知らないが、他人として妙（みょう）に気になるところがあり、かと言って彼女たちをじっと見つめるのも失礼なことなので、なにを見るともなくうつろに視線を泳がせていた。

突然、斜め前の若い女性が、バッグのなかから短い刷毛（はけ）やら薄っぺらいケースやら金属製のスティックのようなものを取りだし、なれた手つきで化粧をはじめた。それは想像していた以上にB入念な作業で、メイクというのはこんなに複雑なものかとあっけにとられると同時に、女性の化粧の一部始終（しじゅう）はじめてつぶさに見ることができるという希有（けう）な時間に溺（おぼ）れ、気がついたときはもう下車駅の四条（しじょう）だった。彼女もいっしょに降りるようだったが、仰向（あおむ）いた彼女の顔を盗み見するように視線をやると、そこにはくっきりと鮮やかな別人の顔があった。

考えてみれば、女性が化粧しているところをのぞくというのは、失礼千万（せんばん）なことである。のぞかれていることに気がつけば、彼女はとたんに冷たいまなざしをわたしに向け返したことだろう。［　C　］おかしなことに、妙に居心地（いごこち）わるくなったのはわたしのほうだった。なぜかよくわからなかった。お行儀（ぎょうぎ）のわるさにD辟易（へきえき）した、というのとはちょっと違う。地下鉄の扉（とびら）のガラスにちらりとじぶんの姿を映し、服装の乱れをチェックするのだったら、横から見ていてほほえましいくらいだから。



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

そのことを友人に話すと、彼も同じ経験をしたことがあると言った。そしてとっさに、子どものころ、おばあさんが部屋の隅の鏡台に向かって髪を梳くのを見て、ひどく叱られたことを思いだしたという。そのとき彼女は、鏡にじぶんを映している姿は猫に見られても恥ずかしい、とつぶやいたそうだ。その経験から彼は、電車のなかで化粧を直している女性を見たときにとにかく無性に不愉快になるのは、見ているこのじぶんが彼女にとって他人どころか、猫ほどの存在ですらないという事実を平然と突きつけられるからだと解釈しているという。なるほど、と思った。〔中略〕

〈見えるじぶん〉をわたしたちはごくわずかしかじかに見ることができない。そこでわたしたちはじぶんの身体についての少量の知覚情報や鏡、他人の視線を手がかりにし、それらを素材として、じぶんの可視的身体をひとつのイメージとして想像的に縫い上げる。わたしたちにとってじぶんの身体とは、いわば薄暗がりのなかでしかかかわれない不確かなものなのだ。〔中略〕

しかし、鏡のなかをいくらのぞき込んでも、〈見るわたし〉に〈見えるわたし〉は見えてこない。あるいは対象としてデフォルメされた〈わたし〉しか見えてこない。そこには他者が不在だからだ。

ひととひとが見つめあっているとき、ひとは鏡をのぞき込むときのように、たがいを対象として観察しあっているのではない。まなざしは他人をじかにつかむと同時に、他人を迎えるものなのである。だから他人の顔を横からじっと見ていても、そのひとがまなざしをこちらに向けた瞬間、眼がかち合い、わたしと他者とのあいだに距離はなくなってしまう。そのときわたしたちの身体全体がたがいを映しだす鏡になる。

こうした関係のなかでわたしたちがそれぞれの〈わたし〉を紡ぎだしてゆくのだとすれば、他者こそがわたしたちにとって第一の鏡だということができる。

地下鉄のなかでコンパクトをのぞき込んでいた女性にとって、すくなくとも車両のなかには彼女の〈わたし〉を映しだす鏡としての他者はいなかった。彼女はあきらかに他者の存在を抹消していたのである。

そう考えて、E<u>どきりとした</u>。じつはその数日前、わたしは徹夜のあと出席した小さな集まりのあと、親睦のための食事の席で、なんと一時間近く熟睡してしまっていたからだ。言い訳はありえない。彼女の場合と同じように、このときわたしもまた、他者のまなざしを拒むというしかたで、じぶんの存在を密封したのだから。

哲学者のマックス・シェーラーは人間の羞恥心を《天然の［F］》と呼んだが、そうするとわたしはそのとき、じぶんの見



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

苦しい裸を他人の眼に圧しつけていたことになる。そのときわたしはきっと、隠すことも失うものもない皮一枚の存在と化していたにちがいない。《他者の他者》としてのありかたを脱落させたじぶんの一例である。

（鷲田清一『じぶん・この不思議な存在』）

問１　空欄 A ・ C を埋めるのに最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

①　なぜなら　②　けれども　③　ところで　④　たとえば　⑤　つまり　⑥　なるほど

問２　傍線部Ｂ「入念な」の意味の説明として最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

①　非常に速く行為を進める様子　②　集中して細部まで気を配る様子
③　周りのことを強く意識する様子　④　自らの技巧を自慢する様子

問３　傍線部Ｄ「辟易した」の意味の説明として最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

①　傷ついて悲しい気持ちになること　②　相手を称賛したい気持ちになること
③　うんざりしていやな気分になること　④　楽しく愉快な気持ちになること

問４　傍線部Ｅ「どきりとした」について、なぜどきりとしたのか。その説明として最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

①　徹夜のあとの親睦の食事の席で一時間近くも熟睡した行為が、他者の目を欠いた恥ずかしいものと気づいたから。
②　地下鉄の車内で化粧をしていた若い女性に対して居心地わるい思いをした理由が、今になって突然理解できたから。
③　親睦会で熟睡した自分の行為と地下鉄で化粧した若い女性の行為が、羞恥心を欠いている点で同じと気づいたから。
④　親睦会の食事の席にもかかわらず、じぶんの裸体をおしげもなくさらしたことが今になって悔やまれるから。



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　空欄 F を埋めるのに最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

①　衣装　②　じぶん　③　友人　④　仮面　⑤　裸体



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 第八講　知識モノ解説

## 文学史・人物解説

●筆者　鷲田清一＝わしだ　きよかず（一九四九〜）京都府生まれ。京都大学文学部卒、同大学院博士課程修了。前大阪大学学長。日本を代表する哲学者。朝日新聞朝刊の連載「折々のことば」の筆者。

○マックス・シェーラー（一八七四〜一九二八年）ドイツの哲学者。

## 語句

老境＝ろうきょう→高齢世代に入ろうかという年齢

アナロジー→類比。似たものと比べること

一部始終＝いちぶしじゅう→ものごとの始まりからおしまいまですべて

つぶさに＝具に→細かく詳しく具体的に

希有＝けう→めったにないこと。珍しいこと。稀有とも書く

あっけにとられる＝呆気にとられる→意外さに驚いたりぼんやりすること

千万＝せんばん→程度がはげしい、はなはだしいこと。「笑止千万」「ふとどき千万」などと使う

溺れる＝おぼれる→熱中して我を忘れること

羞恥心＝しゅうちしん→恥ずかしいと思うこころ



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 復習問題　第八講

次の傍線部にあたる漢字を、次の選択肢から選びなさい。

（ア）記入もれがないか入ネンにチェックする。　①燃　②然　③捻　④念　⑤粘

（イ）手鏡でケ粧の完成度を何度も確かめる。　①化　②毛　③気　④家　⑤仮

（ウ）子供のお行ギの悪さを優しく注意する。　①儀　②義　③偽　④戯　⑤議

（エ）生徒の服ソウの乱れをとがめる。　①総　②葬　③争　④相　⑤装

（オ）会議の後、シン睦の会が用意されている。　①信　②親　③新　④振　⑤慎

（カ）自分をかえりみて羞チ心を忘れない。　①恥　②知　③地　④血　⑤治

（キ）期日までに仕上げるためにテツ夜する。　①鉄　②徹　③撤　④哲　⑤轍

（ク）空気が変わり居心チがわるくなる。　①知　②値　③地　④置　⑤智

（ケ）物事のカイ釈の仕方はたくさんある。　①回　②怪　③解　④改　⑤戒

（コ）自分の顔を対ショウとして鏡を見る。　①省　②商　③照　④称　⑤象



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 第八講　実力確認の問題

《随筆》　テーマ「哲学　自己と他者」

## 《本文の対比構造》

**主役＝筆者の見解**

他者こそが〈わたし〉を知るための第一の鏡

マックス・シェーラー

人間の羞恥心は《天然の衣装》

**主な対比**

**比較相手**

他者が不在

羞恥心なき事例

1　地下鉄車内で化粧する若い女性

2　親睦の食事の席で熟睡してしまった自分

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

**《解説》**

**問１**《空欄補充・接続語・選択肢》

Ａ　空欄直前の「中間のわたしからすれば、ふたりの女性は親でも妻でも姉でも妹でも娘でもありえない存在」と、空欄直後の「家族のアナロジーをどうも適用しにくい存在」はほぼ同じことをいう言いかえになっています。「アナロジー」が似たものを類推すること、類比（対比ではなく）という意味だとわからなくても、「親～妻～姉～妹～娘」という表現と「家族」が言いかえになっていることはわかりますね。また、「～でもありえない存在」と「～適用しにくい存在」とが言いかえということもヒントになります。長い文章も、比較を交えた言いかえの連続であることをこのベーシック講座で学びましたね。したがって、空欄の接続語は⑤の「つまり」となります。このほか、選択肢にはありませんが、〝すなわち・いわば〟もこの仲間です。

Ｃ　今度は空欄の前後が対比・逆接の関係になっています。つまり「女性が化粧しているところをのぞくというのは、失礼千万なことである。のぞかれていることに気づけば、彼女はとたんに冷たいまなざしをわたしに向け返したことだろう」と前フリしておいて、空欄の後「おかしなことに、妙に居心地わるくなったのはわたしのほうだった」で打ち消して、乗り越えています。気分が悪くなったのは「彼女」ではなく「わたし」のほうだぞということです。したがって②の「けれども」が正解です。この逆接の接続語の仲間には〝だが・しかし〟などがあります。

**問２**《傍線部説明・語彙力・選択肢》

傍線部直前にあるように「短い刷毛やら薄っぺらいケースやら金属製のスティックのようなもの」などたくさんの道具を使うことや、傍線部直後の「メイクというのはこんなに複雑なものか」という驚きの感想、「化粧の一部始終」という表現、メイク完了後の「くっきりと鮮やかな別人の顔」という表現から、「入念」が、心を一生懸命に傾けた、手抜かりのないものであることがわかります。したがって、②の「集中して細部まで気を配る様子」が正解です。スーツを着た若い男性でも（いや若くない人でも）、電車内でスマホやタブレットでゲームに一心不乱に打ち込んでいる人がいますよね。鬼気(きき)迫るほどの集中力！　その集中力をビジネスで使えよ、とか教養を高めたらどうですか、とか思ってしまうほどですが、余計なお世話ですね。

他の選択肢を吟味してみます。①は「非常に速く行為を進める様子」とありますが、速さは問題ではありません。むしろじっ



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

くりです。正しい対比喪失の誤りです。③は「周りのことを強く意識する様子」としていますが、しらじらしーい間違いです。まるっきり周りや他者が目に入っていませんから。対比混乱の誤りです。④の「自らの技巧を自慢する様子」は笑えます（今回の問題や選択肢は、私＝小柴大輔がつくっているのですが）。〝見よ、このマスカラを盛るテクニックを！〟〝これが、ファンデーションを自然に見せるウラ技だ！〟とかやってるわけないでしょ。ともあれ、他者の目を気にしている点では、対比混乱の誤りです。

**問３**《傍線部説明・語彙力・選択肢》

「辟易」は、相手に圧倒されてたじろぐこと、また〝あーあ、やれやれ、見てらんない〟と非常にいやな気分になることです。喜怒哀楽でいうと「怒」です。③の「うんざりしていやな気分になること」が正解です。①の「傷ついて悲しい気持ちになること」では「哀」ですね。間違いです。②の「相手を称賛したい気持ちになること」は「喜」、④の「楽しく愉快な気持ちになること」は「楽」で、それぞれ違う感情ですね。さて、本文では、電車内で化粧することについて「お行儀のわるさ」に気分を害しているのではありません。では何に対してか、はあとに書かれています。それは「恥」を知らないことに対して、です。

**問４**《傍線部説明・全体の内容理解・選択肢》

本来、他者が「第一の鏡」です。他者の目を通して自分を知る、自分を整えることが大事だというのが筆者の見解といえます。それなのに、地下鉄でコンパクト（自分を見るための小さな手鏡）を見て化粧していた女性には、他者という鏡はなかった。さて筆者が「どきりとした」のは、親睦の食事の席で熟睡してしまったじぶんの行為も同じだと思い当たったからです。「彼女の場合と同じように、このときわたしもまた」という表現がきわめて大事です。じぶんも彼女も羞恥心を欠いていたという気づきに「どきりとした」のです。

そうすると、③の「親睦会で熟睡した自分の行為と地下鉄で化粧した若い女性の行為が、羞恥心を欠いている点で同じと気づいたから」が正解です。

他の選択肢を吟味してみます。①の「徹夜のあとの親睦の食事の席で一時間近くも熟睡した行為が、他者の目を欠いた恥ずか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

しいものと気づいたから」では、地下鉄の女性が書かれておらず、「わたし」だけです。こういう間違いを、部分的指摘の誤りといいます。②の「地下鉄の車内で化粧をしていた若い女性に対して居心地わるい思いをした理由が、今になって突然理解できたたから」も同様に部分的指摘の誤りです。今度は「わたし」の失敗を書かず、若い女性の話だけになってしまいました。

④の「親睦会の食事の席にもかかわらず、じぶんの裸体をおしげもなくさらしたことが今になって悔やまれるから」は、どうでしょう。これでは、宴会で本当に裸になって破廉恥（はれんち）な芸でもしたかのようです。「見苦しい裸」はいわば比喩です。ほんとに脱いでいるわけではありません。人前で寝てしまうという失態を「裸」と表現しているのです。こういう間違いを、比喩を文字通りに解釈した誤り、あるいは物理的スリカエの誤りと呼びます。

**問５**《空欄補充・内容理解・選択肢》

他者の目に対して恥ずかしいと思う心を羞恥心といいます。マックス・シェーラーは、人間はこうした心をもともと持っているという意味で「人間の羞恥心を《天然の F 》と呼んだ」のです。一方それがないと「見苦しい裸」というわけですから、①の「衣装」と決まります。〝衣装⟷裸〟という対比です。⑤「裸体」では、対比混乱の誤りになります。その他、②「じぶん」、③「友人」、④「仮面」では、先の対比からズレます。正しい対比喪失の誤りです。

**模範解答**

問１　Ａ＝⑤　Ｂ＝②　問２＝②　問３＝③　問４＝③　問５＝①



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 復習問題　第八講　模範解答

（ア）④　（イ）①　（ウ）①　（エ）⑤　（オ）②
（カ）①　（キ）②　（ク）③　（ケ）③　（コ）⑤

解答漢字一覧

（ア）入念　（イ）化粧　（ウ）行儀　（エ）服装　（オ）親睦
（カ）羞恥心　（キ）徹夜　（ク）居心地　（ケ）解釈　（コ）対象

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。